

国語 読解の基礎

(小学3・4年生用)

〈本書について―保護者・塾の先生方へ〉

■本書は、中学入試の国語読解力を養成するために作られた、小学3・4年生用の演習問題集です。

■本書には、次のような特色があります。

*文章のジャンル別に構成されています。

*ぬき出し問題など、中学入試において頻繁に出される設問の型に慣れていくことができます。

*別冊の詳しい解説で、読み取りのポイントをおさえることができます。

■本書は次のような構成となっています。

第1回〜第16回 物語文〈1〉〜〈16〉

第17回〜第25回 説明文〈1〉〜〈9〉

第26回〜第30回 詩〈1〉〜〈5〉

■演習時間の目安は、物語文・説明文については20分、詩については10分です。

■演習後は丸付けを行い、まちがえた問題は解説を参考にヒントを与え、やり直しをさせてください。

第1回 物語文へ1

*次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

カンガルーのお母さんは、ちゅうにとび上がり
ました。それから、ドサツと地面に下りました。

「分かった。さあ、やってごらん。やさしいから。」

「A。一、二の三。」ぼうやはとびました。

でも、草むらに、耳から先におちてしまいました。5

「いやだよ。もうしないよ。」カンガルーのぼう
やは言いました。

「B、ぜったいしない。」

お母さんは、それを聞いても、^①ぼうやのおしり

をたたきませんでした。前にたたいたことがある
10

のですが、少しもいいことはなかったからです。

お母さんとぼうやは、朝ごはんに草を食べはじめ

めました。日がのぼって、せなかがほかほかとあ

たたかくなりました。

「C、おなかのふくろに入って。もう少し草

のやわらかいところに、つれてってあげるから。」

15

そしたら、また、ジャンプのれんしゅうができる
わよ。」

ぼうやは、にこっとして、お母さんのふくろに
入りました。そのまま、ずっといるつもりだった
のです。

カンガルーのお母さんは、ビューン、ドサツ、

ビューン、ドサツととんでいきました。ぼうやは、

^②ねむっちゃおうと思いました。ところが、そのと

き、ぼうやは、自分たちのかげに気がつきました。

「見て。」ぼうやはゆびさしました。あんまり身

をのり出したので、もう少しで、お母さんのふく

ろからころげおちるところでした。

お母さんがジャンプすると、かげは地面をすべ

るように走り、着地すると、じっと動かなくなり

ます。

「すべって、止まって。すべって、止まって。」

カンガルーのぼうやは、歌うように言いました。

「^③あいつ、ずうっとついてくるよ。」

やわらかな草が、たくさん生えているところに

着いたときは、ぼうやは、^④をかかえて、苦

しそうにわらっていました。

「かげったら、すべっては止まり、すべっては止

35

30

25

20

まり、ずうっとついてくるんだよ。ぼくたちのこ
と、すきなんだ。」

「かげはね、母さんが⑤なのよ。」カンガル
ーのお母さんは言いました。

「D、あれは、母さんのかげだもの。ついて
くるのは、母さんが⑤だからよ。」

「ちえっ、ぼくのだったらな。ねえ、おねがい。
今日一日だけ、かしてくれない。」

お母さんはわらって言いました。

「ぼうやには大きすぎてだめよ。自分のかげは、
自分で見つけなきゃ。ぼうやの大きさに合ったの
をね。」

⑥ かげは、ぼうやをまってるのよ、草の上で。」
(Anita・ヒューエット『かげを見つけたカンガルーぼうや』)



40

45

50

①

A D にあてはまることは、次から選
び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は一回しか
使えません。)

ア だって イ もう
ウ ようし エ さあ

A
B
C
D

②

——線①「ぼうやのおしりをたたきませんでした」
とありますが、それはなぜですか。その理由を説明し
た次の文の□にあてはまる十二字の部分(ぶぶん)を文中
からさがし、はじめと終わりの三字をぬき出して答
えなさい。

前にたたいたこともあるが、□から。

□
□
□
□
□
□

③ ———線②「ねむっちゃおう」とぼうやが思ったのはなぜですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア お母さんのふくろの中が気持ちよかったから。
イ 朝ごはんを食べておなかがいっぱいだったから。

ウ ジャンプのれんしゅうをするのがいやだったから。

エ 自分たちのおかげに気がついたから。

④ ———線③「あいつ」とはだれのことですか。文中から七字でぬき出して答えなさい。

⑤ ④に入る体の部分を自分で考えてひらがな三字で答えなさい。

⑥ ⑤に入ることばを文中からひらがな二字でぬき出して答えなさい。(二つの⑤には同じことばが入ります。)

⑦ ———線⑥「かげは、ぼうやをまってるのよ、草の上で」と言ったときのお母さんの気持ちを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ぼうやにジャンプのれんしゅうをしてほしい。
イ 自分のかげをぼうやにあげたくない。

ウ ぼうやが重いので、はやくふくろから出てほしい。

エ ジャンプのれんしゅうはもうしたくない。

⑧ 次の文を文中にもどしたいと思います。どの文のすぐ後に入れるのがよいですか。その文の終わりの五字をぬき出して答えなさい。（「。」「や」「」も一字分とします。）

朝ごはんがおわると、カンガルーのお母さんは言いました。

⑨ この文章の内容として正しいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ぼうやはジャンプするのが得意だった。

イ ぼうやはやわらかい草が食べたかった。

ウ ぼうやお母さんのふくろからおちそうになった。

エ ぼうやは自分の大きさに合ったかげを見つけることができた。

--